

内田 慎哉

早1年以上が過ぎてしまいましたが、2006年12月26日、コンクリート構造物の非破壊検査を考える会として、“熱意”そして“夢”を持った世代の異なる有志者が集まって、「大阪・構造物非破壊診断交流会」(Osaka Non-destructive Diagnosis Association, 略称: ONDA「オンダ」、会長: 大阪大学大学院教授 鎌田敏郎)が発足しました。ONDAのメンバーは、大阪大学に所属するもの2名、PCやRCを問わず供用中のコンクリート構造物を対象に、実務で非破壊検査を日常的に取り扱っている(株)国際建設技術研究所に所属するもの2名、研究・開発に加えて供用中のコンクリートや鋼構造物を対象に、エネルギーに非破壊試験を日々行っている非破壊検査(株)に所属するもの2名、建築分野におけるコンクリートの非破壊検査や試験業務、研究活動を活発に行っている(株)日本建築総合試験所に所属するもの2名、合計8名から構成されております。ONDAの特徴としては、まず、4つの所属機関全てにおいて、非破壊検査を精力的に行っていることです。また、非破壊検査の対象が、土木、建築と多岐に渡っています。さらに、4つの所属機関の所在地が全て「大阪」であることです。このような特徴をもつONDAの事務局を、筆者が務めさせて頂くことになりました。

ONDAは、メンバー間の風通しも非常に良く、世代間あるいは世代を越えた交流も円滑、円満そして盛んに行われております。例えば、大学での研究において困ったときには、他の所属機関のメンバーに相談し、即解決することができます。ONDAのおかげで、各所属機関相互の垣根がより低くなり(筆者が事務局の立場を図々しく利用

ONDA (大阪・構造物非破壊診断交流会)

ホーム トピックス メンバー 活動報告 リンク お問い合わせ

大阪・構造物非破壊診断交流会

大阪・構造物非破壊診断交流会(ONDA)とは、2006年12月、大阪大学大学院 鎌田敏郎教授のもとに、コンクリート構造物の非破壊検査を考える会として、コンサルタント会社、検査会社、財団法人および大学に所属する“熱意”そして“夢”を持った有志者が集まって、発足したものです。

本会は、非破壊診断技術について真に議論し、ニーズに合った研究を遂行するとともに、非破壊診断分野が今後も発展するための啓蒙活動を展開することにより、大阪から全国へと挑戦していきます。

新着情報

2007/08/06: ホームページを開設致しました。

- ホーム
- トピックス
- メンバー
- 活動報告
- リンク
- お問い合わせ

写真-1 ONDAのホームページ

しているだけかもしれませんが…)、人生の、そして非破壊検査の大先輩から、容易に、しかも親切・丁寧にご指導頂いております。また、ONDA開催後は、必ず懇親会を開くことが義務づけられているため、ONDAでは聞けない貴重な人生経験や筆者自身の個人的な悩みの相談にのって頂いております。そのため、懇親会の度に、裏議事録を作成しては?という声もあります。

上記のような恩恵を受けているため、その分事務局としての役目しなければなりません。恩返し第1段として、2007年8月6日に、ホームページ(<http://onda.skr.jp/index.html>)を開設いたしました(写真-1参照)。筆者自身、HTML言語によりウェブサイトを作成することが初めての経験でした。制作開始から終了まで、1カ月近くもかかってしまいましたが、何とか開設するに至りました。今後は、ONDAのウェブサイトを活用して、コンクリートの非破壊評価技術ならびに信頼性の向上を目的とした啓蒙活動

など、メンバーへの更なる恩返しをしたいと考えております。

私自身、このような交流会での事務局を務めることは初めての経験であり、大変貴重な勉強をさせて頂いております。ONDAの開催回数はこれまでに6回を数え(2カ月に1回の頻度で開催)、その都度、開催案内の送付、話題提供のお願い、議事録の作成、懇親会の手配などをしております。各機関に様々なお願いをし、ONDAが滞りなく進行するための事務方は、なかなか骨の折れる仕事であることを実感しております。このような貴重な経験をさせて頂いていることに感謝するとともに、5年後、あるいは10年後には、みなさまにONDAを認知して頂けるように、今後も積極的に事務仕事を経験させて頂き、縁の下の力持ちになればと思います。

(うちだ・しんや/正会員
大阪大学大学院
工学研究科)